

# SHIRO TORI 通信

**Vo.37**

2024 spring

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは  
畑のもったいないを、  
まだ見ぬ価値に

「あぐりぽっぷ」さん

城取設計ニュース  
オススメ！この一冊  
建築ニュース  
建築探訪  
建築設計の仕事  
実録！地元の子カラ この街の企業  
ピアードパパ伊那店OPEN  
営業コラム





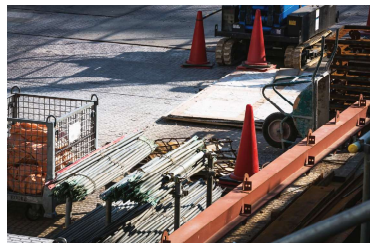
# 建築 NEWS

建設業の2024年問題 解決のためには

2019年4月から施行された「働き方改革関連法」ですが、建設業、物流業など一部の業界には5年間の猶予期間が設けられていました。この猶予期間が終了し、建設業も2024年4月から年間時間外労働の上限規制が適用されました。これにより、今までよりも工期が長くなったり、より多くの人手が必要になることが懸念されます。

しかし、建設業は他の産業より待遇が低く、就労時間が長いことで技能者の不足が深刻な課題となっています。また、29歳以下の若年層の離職率が高く、労働者の高齢化も問題になっています。

政府は、若者が働く意欲を持ちやすい産業



となるよう、国会で建設業法と公共工事の入札に関する法律を改正します。ポイントは、労働者の処遇改善、建設資材の高騰による労務費へのしわ寄せ防止、建設現場の生産性向上による働き方改革実現の三点です。

具体的には、情報通信技術（IoT、ICT）を建設現場に導入し効率的な現場管理を行えるようにする。資材高騰分を請負代金に適切に反映する。建設業者は労働者の処遇確保を努力義務するという内容です。

「地域の守り手」である建設業が今後もその役割を果たしていけるよう、官民が協力して労働者の確保と処遇改善に努めていかなければいけないと思います。

現在歌舞伎町がある場所は、かつては湿地帯で今でも歌舞伎町には水を司る神、弁財天が祀られています。歌舞伎町タワーはこの「水」から着想を得て、噴水をイメージしたデザインになっています。離れた場所からビル全体を見ると、巨大な噴水が水しぶきを上げているように見えます。建物内部には、ホテル、映画館、劇場、アミューズメント施設、ライブホールなどがあり、エンターテインメントの複合施設になっています。



## 建築探訪

### 東急歌舞伎町タワー

今回ご紹介するのは、昨年4月にオープンした東急歌舞伎町タワーです。歌舞伎町の新たなランドマークとしてかつての新宿TOKYU MILANOなどの跡地に建設された、国内最大級の超高層複合施設です。外装デザインは永山祐子建築設計が担当しました。

## 城取設計ニュース

### 新入社員のご紹介

4月より新卒で入社いたしました、松田拓巳と申します。私は高校卒業後、何となく興味があった建築の専門学校に入学しました。それまで建築といえば、設計図を書いて建物を建てる程度しか分かりませんでした。ただ、そこでは建築の魅力やおもしろさをたくさん学び、私自身も建築の世界で活躍したいと考えるようになりました。

建築のおもしろさには自分が設計した建物が実際に建ったり、地図に載ったり目で見て分かりやすいものから、経験しないと分からない奥深さがあります。そのなかで私はとても惹かれたものがあります。それは「人を笑顔にできる」ということです。お客様、地域の皆様を笑



長野県上伊那郡箕輪町出身  
上田情報ビジネス専門学校卒業

松田 拓巳

顔にできる設計士になるためには知識や技術ももちろん大事ですが、まず自分自身が笑顔であることを大切にしたいと思います。そして歴史のある城取設計に入社できたこと、このご縁を大切にしていきたいです。未熟者ではございますが、一歩ずつ頑張っと思っていますので、どうぞよろしくお願

おすすめ

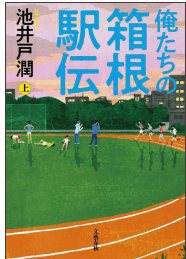
## この一冊

「俺たちの箱根駅伝」

池井戸潤（文藝春秋）

勝者と敗者、そして、それを映すテレビマン。それぞれの戦い

毎年1月2日、3日に行われる箱根駅伝では、優勝の行方のみならず、山の神、シード権争いなど、数々のドラマが起こり、見ている人の胸を熱くしてくれます。そんな箱根駅伝を、半沢直樹シリーズなどを手掛けた人気作家、池井戸潤が描きました。箱根予選会、関東学生連合チーム、そして駅伝中継を担う大日テレビ・スポーツ局のプロデューサー。駅伝の表舞台と裏舞台が書かれているこの作品。駅伝ラストイヤーの明誠学院大学主将、青葉隼人。けがを乗り越え迎える箱根駅伝予選会。果たして、予選会の結果は…。一方、編成局長から無理難題を押し付けら



池井戸潤著  
定価・上下巻各1,980円税別  
発売日・2024年4月24日  
形態・単行本（36ページ）

特集

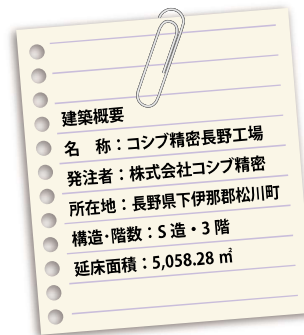
# 施工事例

創業61年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

## 施工事例

パズルをはめ込むように必要な機能を配置



コシブ精密様は今ではモーター・ロボット・工作機械・半導体から医療など、ありとあらゆる分野で必要不可欠となっているフォトマスクやエンコーダスリット板等の光学精密部品を製造する会社です。「ナノの世界のエキスパート」をスローガンに常に新しい技術の習得、先端技術開発に取り組んでいます。

既存工場は老朽化のうえ、傾斜のある敷地に増改築を繰り返しており、決して使いやすく作業効率・作業環境の良い工場とはいえませんでした。更に産業用ロボット部品の生産能力を引き上げる必要があり弊社に工場増築の依頼をいただきました。

計画地は既存工場の隣に新たに取得した敷地。すぐとなりに松川が流れていて、既存工場と同じく傾斜した不整形な土地でした。求められたのは本体

工場の他に関連する付属棟4棟とテラス1等の屋外設備で、限られた敷地の中に既存工場との高さ関係や導線を調整しながらパズルをはめ込むような感覚で配置計画を行い必要な機能を納めていきました。

本体工場は3階建。1階、2階が生産エリア。3階は事務室等を配置しました。敷地の傾斜を活かして従業員、来客、資材の搬入、製品の搬出とも2階からアプローチする計画としています。社員のリフレッシュスペースであ

る食堂は3階の南アルプスを一望できる位置に配置し、少しでも業務の合間に気持ちを切り替えられるような空間を目指しました。

外観デザインとしては、既存工場のデザインを踏襲した、来客用エントランスのガラスBOXをシンボルとし、金属系の水平方向を強調した外装により光学精密部品を扱う工場としての厳格さを表現しました。



工場内部



3階廊下



展示棚





高級食パン専門店  
これぞパンです  
This is a "PAN"!!



## ビアドパパ伊那店OPEN

かねてから準備しておりました「ビアドパパ伊那店」が7月中旬、南箕輪村「これぞパンです」敷地内にトレーラー店舗としてオープンします。

トレーラー販売は全国で2店舗目となるお店です。開業25年となるビアドパパの人気商品「シュークリーム」は、クリームを詰める実演販売スタイルで表面はサククリ、中はしっとりもちもちとした食感で満足度間違いなしです。



<p>本店 長野県上伊那郡 南箕輪村 298-5 TEL.0265-97-1376 OPEN 10:30 ~ 18:00 ※パンが売り切れ次第終了 定休日 不定休</p>	<p>cafeties 長野店 長野県長野市 大豆島 4195 TEL.026-405-7845 パンの販売 10:30 ~ カフェ 11:00 ~ ※パンが売り切れ次第終了 定休日 不定休</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

二日目は完全自由行動という事で、そ



5月16日、18日の二泊三日で社員旅行という事で京都へ、前回の社員旅行はコロナ前に石川県金沢市に行った以来5年ぶりとなりました。

京都まではまず会社から名古屋駅まで3台に分乗して移動、新入社員である松田の車では自己紹介から始まったようで、普段仕事では聞けなかった事や人となり分かる自己紹介をしてくれたようです。初日の京都の夜は全員で、隈研吾氏がデザイン監修した複合商業施設「新風館（しんぷうかん）」で食事をしながら、京都の建物・リノベーションについての会話が弾みました。

それぞれ想いの場所へ。電車を乗り継いで「神戸」へ行くもの、「奈良」へ行くもの、大阪の兄弟に会いに行くものなど、そんな中で私と専務は「ビアドパパ」開業に向けて本社のある大阪まで移動して、社長面談をしてくるなど、本当に人それぞれの二日目となりました。

とてもリフレッシュできた3日間を過ごすことができました。

## 営業コラム



# この街の企業

実録

地元のチカラ

あぐりぼっぷ  
(南箕輪村)

「これ普通に加工すれば食べられるんですよ。」世の中には作られたけど、出荷されず廃棄される野菜や果物は400万t程度ある。それを喜ばれる形に変えていきたい。そう語ったのは、3年前に東京から移住してきた内田元也さん。

東京都練馬区の公務員を退職して、南箕輪村の協力隊になった。活動の中で廃棄される野菜を有効活用したいとの想いから、起業し、日本で初めてアスパラの端材と最新成分をブレンドしたサプリメントを開発販売した。「正直、400%達成するとは思わなかったです。これも全て想いに共感いただいた皆様のおかげです。」4月末に終了したサプリメントのクラウドファンディングはなんと250人以上の方から支援され210万円に達していた。社会性と経済性の両立を実現したい。そんな想いに支援者が購入してくれていると語った。「ただ、商品を作れば良いのでは

畑の「隠れ食品ロス」に挑戦し  
農家、加工者、利用者が喜ぶ世界を作りたい!



「社会性と経済性を両立しながら、喜ばれる世界を実現したい。女性コミュニケーションの代表者様一度お話しさせてください」そんな彼に連絡をしてあげてほしい。

## 畑のもったいないを、 まだ見ぬ価値に



## フードロスから健康に

公務員を退職後3年前に東京から移住。南箕輪村の協力隊になり、株式会社あぐりぼっぷを創業。畑のもったいないを喜ばれる商品とし新たな価値をつけることをビジョンに活動。日々自分に言い聞かせる言葉は「課題に向き合い続ける勇気が未来を切り開く」



あぐりぼっぷ  
長野県上伊那郡南箕輪村 6300 番地 1  
TEL : 080-6686-2510  
HP : 華穂中

オーナーの横顔  
内田元也氏

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。

私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



## 城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます

事前打ち合わせ 設計業務 監理業務

費用は掛かりません



## 株式会社 城取建築設計事務所

■創立：1963年4月1日

■代表取締役：城取健太

■資本金：1000万円

■登録：(伊那)M第7Y051号

■取引銀行：八十二銀行 伊那支店  
アルプス中央信用金庫 本店

■所属団体：(社)長野県建築士事務所協会  
(社)長野県建築士会

■事業内容

- ・建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・商業施設に関する企画・設計・監理
- ・環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・建物構造調査・診断・設計・監理
- ・既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■本社

長野県伊那市西町 5863-1

TEL：0265-72-7271

FAX：0265-72-7270

